

●校是

自由と規律 知性と創造 参加と協力

●教育方針

本校の校是のもと、多様な生徒が学ぶ普通科の特色を生かし、自己評価・外部評価・生徒による評価を活かした教育実践を行う。

知、徳、体の調和がとれ、創造的で個性豊かな人間性の育成を図る。

●教育目標 — 21世紀を自分で歩く —

- 個々の生徒の可能性を全面的に伸ばすことによって、様々な局面に対しても、課題を自主的に解決して未来への途を切り拓き得る生徒を育てる。
- 本校の伝統である自由と規律の精神を深く理解させ、国際化が進むこれからの社会で活躍できる生徒を育てる。

●指導の重点

(1) 自学自習の定着を図る指導

家庭学習の習慣化を働きかける中で、自ら進んで学力の向上に努める態度を養い、学ぶことの喜びを知り、厳しさに立ち向かう心を育てる。

(2) 多面的な学力を身につけさせる指導。

国際的な視野を持ち、様々な取組・経験を通じた多面的な学びを支援する。

(3) 進路希望実現への取組を支援する指導

シラバスを有効に活用し、目標やテーマを明確にした授業を行い、生徒の授業評価に基づく授業の充実を図る中で学力の定着を図り、進路選択に向けた生徒個々の取組を計画的に支援する。

(4) 自己管理能力の向上を図る指導

基本的な生活習慣を確立させる中で、時間や健康、安全に対する意識を高め、場と状況を考え、判断を伴った行動をとることができるよう意識改革を図る。

(5) 人権教育の推進を図る指導

人権意識を高めるため、本校の集団教育のあらゆる場面を実践的な人権教育の場として意識し、人権文化の確立を図る。

●学校経営方針

校是を基にした教育目標達成のため学校の教育力を高め、内外に開かれた学校づくりを進めていく。

(1) 目標の明確化と情報の共有化を図る中で、個人力を組織力として機能させる

各教育活動の目的、目標を明確化し、情報を共有することで教員個人の力を学校というチームとして機能させる。

(2) 各部、学年等連携をより一層深める

校務分掌業務を見直し、分掌内外の連携を一層図ることにより、効率的に業務を遂行する。

(3) 学校経営への参画意識を高め、リーダーを育成する

教職員各自の学校経営に対する参画意識を高めることで、リーダーを育成する。

(4) 教職員のゆとりの創出

業務の効果的、効率的な運用を通して教職員のゆとりを創出する。